

記入例



様式第14号

工 事 着 手 届

書類の提出日は、契約日と同じ日を記入。

平成 30年 8月 1日

津 山 市 長 殿

受注者 住 所 津山市山北520

株式会社 〇〇建設

氏 名 代表取締役 〇〇〇〇



下記のとおり着手しますのでお届けします。

工事名は、よく確認の上、正確に記入
工事名の前に年度はつけない。

1 工 事 名 市道△△△△号線改良工事その1

2 工 事 場 所 津山市 山北ほか 地内

必ず「津山市 〇〇 地内」と記入。
「ほか」は平仮名で記入。

3 請 負 金 額 ¥3,360,000 円

4 契 約 年 月 日 平 成 30 年 8 月 1 日

5 着 手 年 月 日 成 30 年 8 月 1 日

着手日は、契約日と同じ日を記入。

随意契約の場合は、別途指定する日。
入札案件(300万円未満)の場合は、入札日翌日。
入札案件(300万円以上)の場合は、契約保証金入金日。

記入例



書類の提出日は、契約日と同じ日を記入。

平成 30年 8月 1日

工 程 表

津 山 市 長 殿

受注者 住所 津山^市山北² 株式会社^{〇〇}建設
 氏名 代表取締役^{〇〇} 〇〇



下記のとおり施工しますから承認願います。

記

工事名は、よく確認の上、正確に記入
工事名の前に年度はつけない。

- 1 工 事 名
- 2 工 事 場 所
- 3 請 負 金 額
- 4 工 期

市道△△△号線改良工事その1

津山市 山北ほか 地内

¥3,360,000 円

着手 平成 30年 8月 1日

完成 平成 30年 12月 20日

必ず「津山市 〇〇 地内」と記入。
「ほか」は平仮名で記入。

着手日は、契約日と同じ日を記入。

工 種	数 量	8月	9月	10月	11月	12月	月
準備工	1式	■					
〇〇工	1式		■	■			
△△工	1式			■	■		
□□工	1式			■	■		
片付け工	1式				■	■	

工程表の月数が不足する場合は、
工程表を2枚作成したり、工種欄に『別紙』と記入し別紙を添付
するなどの対応をしてください。

記入例

様式第15号



現 場 代 理 人
主 任 技 術 者 選 任 届
監 理 技 術 者

書類の提出日は、契約日と同じ日を記入。 平成 30年 8月 1日

津 山 市 長 殿

工事名は、よく確認の上、正確に記入
工事名の前に年度はつけない。

津山市 建設
株式会社 ○○建設
代表取締役 ○○
受注者

工 事 名	市道△△△△号線改良工事その1										
工 事 場 所	津山市 山北ほか 地内										
請 負 金 額				百万							
		¥	3	3	6	0	0	0	0		
	着 手	平成 30年 8月 1日									
	完 成	平成 30年 12月 20日									

必ず「津山市 ○○ 地内」と記入。
「ほか」は平仮名で記入。

着手日は、契約日と同じ日を記入。

現場代理人
上記の工事に対する主任技術者を津山市契約規則第⁵⁹/₆₀条に基づき下記のとおりお届けします。
監理技術者

記

現場代理人 住 所 津山市×××

氏 名 ○ ○ ○ ○

主任技術者 住 所 津山市△△△

氏 名 ○ ○ ○ ○
(資格 1級土木施工管理技士)

監理技術者 住 所 _____

名 _____
(資格 _____)

現場代理人及び技術者の住所は必ず
記入。

選任した技術者の当該工事に対して、
有効な資格を記入。

下請の合計が3,000万円(建築一式工事の場合は4,500万円)以上になる場合、
又は監理技術者の配置を指定している場合は、監理技術者を選任。
その他の場合は、監理資格の有無に関わらず、主任技術者として選任。

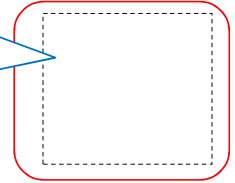
記入例

様式第3号

(300万円未満の工事請負に使用する。)



2部作成したものの1部に請負金額に応じた収入印紙を貼付のうえ、消印を押すこと。



工事名は、よく確認の上、正確に記入。工事名の前に年度はつけない。

契 約 書

1 工 事 名	市道△△△号線改良工事その1		
2 工 事 場 所	津山市 山北ほか 地内		
3 工 期	着 手	平成 30年 8月 1日	
	完 成	平成 30年 12月 20日	
4 請 負 金 額	着手日は、契約日と同じ日を記入。 (うち取引に係る消費税及び地方消費税額)		¥2,730,000 円 ¥130,000 円
5 契約保証金	免 除		
6 部分払回数	工期内に		

必ず「津山市 ○○ 地内」と記入。「ほか」は平仮名で記入。

着手日は、契約日と同じ日を記入。

消費税法における課税事業者は必ず記入。免税事業者については、記入しないこと。

上記により工事を請負います。については津山市契約規則、関係書類（設計書・仕様書・注文書・図面）見本及び現場等承諾のうえ工期内に工事を完成することを引き受けます。もし違背したときはこの規則の定めるところにより処分を受けても異議はありません。

平成 30年 8月 1日

随意契約の場合は、別途指定する日。
入札案件の場合は、入札日翌日。

発注者 津山市山北520番地

津山市

津山市長 ○ ○ ○ ○

受注者 住 所 津山市山北520

氏 名 株式会社 ○ ○ 建設

代表取締役 ○ ○ ○ ○



記入例



様式契1号（300万円以上の工事請負に使用する。）

2部作成したものの1部に請負金額に応じた収入印紙を貼付のうえ、消印を押すこと。

工事請負契約書

工事名は、よく確認の上、正確に記入。
工事名の前に年度はつけない。

1 工事名	市道△△△△号線改良工事その1									
2 工事場所	津山市 山北ほか 地内									
3 工事内容	別添設計図書のとおり									
4 工期	着工 平成 30年 8月 1日 完成 平成 30年 12月 20日									
5 請負金額	算用数字で記入すること。 金額の頭に「止印」をすること。	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	円
		¥	3	3	6	0	0	0	0	
	うち取引に係る消費税及び地方消費税の額	¥160,000 円								
	(注)「取引に係る消費税額」は、消費税規定により算出したもので、請負者がある。〔 〕の部分は、請負者が	消費税法における課税事業者は必ず記入。免税事業者については、記入しないこと。								
6 請負者	津山市山北520 株式会社 ○○建設 代表取締役 ○○ ○○									
7 契約保証金額	¥15,750,000 円 免除									
8 部分払	工期内に 1 回以内									
9 契約年月日	平成 30年 8月 1日									

必ず「津山市 ○○ 地内」と記入。
「ほか」は平仮名で記入。

着手日は、契約日と同じ日を記入。

必ず請負者名を記入。

契約保証を必要とする場合は、必ず記入。

契約保証を必要とする場合は、契約保証金入金日。必要としない場合は、別途指定する日。

記入例

(補 則)

第46条 この契約書(変更契約書を含む。)の作成に必要な費用は、すべて受注者の負担とする。

第47条 この契約書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者が協議して定めるものとする。

この契約の締結の証として本書2通を作成し、当事者記名押印のうえ、各自1通を保有する。

契約日を記入。

平成 30年 8月 1日

発注者 津山市山北520

津山市

津山市長 ○ ○ ○ ○ 印

受注者 住 所 津山市山北5-20

株式会社 ○ 建設

氏 名 代表取締役 ○ ○



※ダウンロードした契約書は、A4両面印刷又はA3二つ折で作成し、必ず袋綴じにして作成すること。

記入例



課税
免税
事業者届出書

書類の提出日は、契約日と同じ日を記入。

平成 30年 8月 1日

津山市長 殿

住所 津山市山北520

株式会社 ○○建設
氏名 代表取締役 ○○ ○○



下記の期間については、消費税法の

課税事業者

免税事業者

課税事業者又は免税事業者のどちらかを○で囲む。

であるのでその旨届出します。

課税期間(免税期間)については、その期間内に工期が全て含まれる場合は記入。そうでない場合は、空欄で提出を。

記

課税期間 (免税期間)	自	平成	年	月	日
	至	平成	年	月	日